

平成 29 年 9 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

9 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 4 業種、悪化が 3 業種、昨年同等が 7 業種ではあるが、全体の景況感 DI 値は若干の悪化となった。

食料品、小売業の一部で売上が増加傾向で、窯業・土石製品、運輸業の一部でも受注が順調な模様であるが、サービス業、建設業等では台風の影響等もあり景況感は悪化している。人手不足が続いており、働き手の確保が話題の中心となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 3.8% 悪化：35.0% DI 値：▲31.2% ポイント

売上高

（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 17.5% 減少：36.3% DI 値：▲18.8% ポイント





収益状況








（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転： 7.5% 悪化：33.8% DI 値：▲26.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（平成 29 年 9 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲14.3	▲50.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	▲11.1	▲50.0	▲30.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲20.0	▲33.3	▲75.0	▲45.5	▲20.0	0.0	▲100.0	▲31.9
							

全 体
▲31.2


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	涼しい気候になってきたが、売上が上がらない。	調味料製造業
	お彼岸の「おはぎ」といった行事や季節のお菓子が売れなくなっている。消費者に『菓子と日本の伝統行事』として啓発するような事業が必要かもしれない。	パン・菓子製造業
	台風18号の影響で3連休（16～18日）の売上は厳しかったものの、9/24時点の累計で対前年同月比+4.9%と健闘している。9/21（木）経済産業局経営支援課長を訪問し、今年度補正・次年度補助事業（明治維新150年記念商材造成事業・通販事業・魚種ブランド化事業）について事前相談した。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが悪い。今後の世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	季節外れの長雨のため稲刈り作業に遅れが生じ、併せてお米の収量についても低下している。地球温暖化に伴い、ゲリラ豪雨など、過去の知見が全くいかせない状況となっており、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、国民への連絡体制などの仕組みづくりが必要になってきている。また、地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	布帛製品が販売不振のため、取扱製品の転換が必要となっている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	受注が減少している。	外衣・シャツ製造業 下関市
	やはり組合員企業によって受注にかなりの差が出ている模様である。少ロット、多工程の生産工場の確保にメーカーも苦戦している模様である。今後は、企業努力で工場の技術、生産体制を構築し付加価値を持った工場には、益々発注が有りそうである。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	対前年同月比では変動がない。	製材業・木製品製造業 山口市
	公共工事関連で仕事量はあるが、退職による従業員の減少を補充できない組合員が出ている。人手不足である。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	7月、8月に引き続き9月の受注状況も芳しくない。特に、新聞折り込みチラシ需要の落込みが大きい。これから年末に向けて需要期を迎えるが、前年並み	印刷 下関市

	<p>の受注が確保できるか不透明である。</p> <p>7、8月の受注減が響き、売り上げが伸びなかった。</p>	印刷 山口市
窯業・土石製品	<p>9月の出荷量は、 （平成28年9月）骨材 60%、路盤材 93%、 再生材 121% ↓ （平成29年9月）骨材 126%、路盤材 118%、 再生材 134%</p>	砕石製造業
	<p>出荷量は、前月比 86%、前年同月比 80%。岩国は基地関連工事の終了による影響が大きく、今月は対前年同月比 53%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定している。</p>	生コンクリート製造業
	<p>盆を過ぎ彼岸を迎えるも忙しいと言った声は聞こえない。去年の仕事の無さから、土木の仕事をしている組合員もいるが、その方が忙しく本業の方が疎かになっているという声も聞く。組合自体の動きも鈍く、先ずいろいろな行事に参加する事から活性化を図りたい。</p>	石工品製造業
	<p>萩市内の観光客数及び売上は前年同月比で同等もしくは下回った状態で、依然厳しい状況が続いている。16日～18日の3連休は台風の影響で客足が伸びなかったのも影響している。山口県とJRグループ6社での大型観光キャンペーン「幕末維新やまぐちディステーションキャンペーン」が9月1日よりスタートしたが、現状あまり目に見える効果は無いように思える。観光客の前年比 100 万人増を目標にということで秋に向けて期待したい。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの売上は、前年同月比で若干下回る状況。9月14日(木)～18日(月・祝)に開催された「西日本陶磁器フェスタ(北九州市小倉)」には当組合員も参加しましたが、悪天候のため1日中止になった事もあり、前年を下回る結果となった。</p>	陶磁器・ 同関連製品製造業
一般機器	<p>海外プラント関係は、若干好転しかけている。雇用面は慢性の人手不足で、特に熟練技術者が不足している。自動車関連は、金型を中心に全般的に好調である。組合員企業は好転しているが、衆議院選挙後が気がりとなっている。内閣改造の効果が出ないまま抜き打ち解散となり、経済効果が早く地方に反映するように祈るしかない。</p>	一般機械器具製造業 防府市

	<p>機械検査、機械加工関係の受注状況は引き続き安定している。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、パート、派遣も含め人材の確保が困難なため、外国人技能実習生受入の増員の相談がある。水産加工については受注難である。介護の実習生受入については、中国、ベトナムへの調査を進め受入の準備を進めている。続いて、フィリピン、インドネシアの調査を行う予定である。外国人技能実習生受入れの法改正に伴う人数枠の拡大、5年への延長についても要望がある。</p> <p>8月と同様で推移している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	鉄道車両部門は長期作業量に恵まれ順調に業績を上げているが、精密加工部門とプラント部門の落ち込みが大きく、全体的には前年並み程度である。両者の回復は年末を待たないと見えない状況である。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	9月に入っても、いりこの割高な状態が続いており10月に期待したい。その他の商品の入庫が51.8%増加し、増収となった。	乾物卸売業
	魚の入荷が少なく売れ行きも悪いが、「ふく」は昨年より多く値段が安くなる傾向である。	生鮮・魚介卸売業
小売業	8月にメーカーより新商品が発売されたが高価なファンデーションのため、在庫の金額が上がりすぎないように調整している。メーカーによっては返品をあまり取らないので不動在庫のような商品がある店舗も多いとのこと。山口県内では東部地区の店舗が頑張っており、若い後継者も増えている。	化粧品小売業
	広島東洋カープ2軍の優勝も間近となり由宇練習場への来場者が急増し、出店業者の売上が好調となっている。また、町内商店街に帰りに立ち寄る人も見受けられる。商店街の道路補修が始まり工事等の影響で、益々人通りがない。小売業については、従来通り厳しい状況が続いている。米軍艦載機の岩国基地への移駐が決定し、9月も引き続き建設業・設備業は米軍住宅や防音工事等で順調である。レストランや食堂も週末に家族連れ客が多く繁盛している。	各種商品小売業 岩国市
	徳山駅前図書館の開業が平成30年2月3日と発表され、駅前周辺の工事が最終段階に入った。商店街との融合策が当面の課題である。	各種商品小売業 周南市
	9月はイベントを開催。来街者も多く来店者数も増え、少しは売上に繋がった模様。来街者数は台風等の天候等に左右されるが、一方で「良い品物」を選択し購入する客も多いため、これが売上に繋がっている。	各種商品小売業 山口市

	お盆明けからの不況が回復することがなく、組合員からも昨年に比べ商店街への来客数が減少しているとの声が上がっている。来月に期待したい。	各種商品小売業 下関市
	今月は、台風の影響もあったが、売上は前年同月を僅かに上回った。客数については前年を下回る状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	猛暑の反動か売上が悪化している。近隣商店街との合同イベントは集客に寄与しているが、なかなか売上に結びつかないでいる。しかし、実施しないと更に衰退すると考えられ継続しないといけない。空き店舗対策の強化が急がれる。	山口市
	8月と同じく、停滞ムードが続いている。	宇部市
	アーケード内にも多少、人の流れが増えたように感じる。衣料品店が秋物商品を入荷したが、品定めのみ来店はあるが、まだ売上に繋がっていないとのこと。他店でも同様で、売上が伸びないと嘆いている。	萩市
サービス業	行楽シーズンで出かける人は多いが、美容室はゆっくりした日々が続いている。新規オープンで美容室は増え続けているため競争が激しくなり売上が減少している。安売りの店舗も増え、各店は新規客や遠のいた客等の掘り起こしに躍起になっている。	美容業
	暑い日が終り秋の気配も感じられ、売上の増加を見込んだが減少傾向。先行きが不透明である。	理容業
	現在、国が進めている「自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）」について、本年4月より継続検査（車検）の申請手続きの一部で電子化（継続検査 OSS）され運用が開始された。この継続検査 OSS は、民間車検場（指定整備工場）に限定されるものの、指定整備工場にとっては従業員等の負担軽減などの多くのメリットがあることから、県内でも少しずつ導入が進んでいる。将来的には、全指定整備工場を導入することを目標に掲げている。	自動車整備業
	働き手の確保が話題の中心となっている。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員は対前年95%と7月から3カ月連続で前年割れとなった。施設による好不調が顕著に表れた9月であった。	旅館業 山口市
	観光シーズン第一弾の連休に台風が来て、キャンセルが続出した。9月からディステーションキャンペーンが始まったが、このイベント客はほぼない。	旅館業 下関市
	売上高は前年同月比で変わらない。借入金を半年分返済するため、資金繰りに苦慮している。天候の悪化もあり、売上高の増加とはならなかった。	旅館業 長門市

	例年、夏より売上は下がる時期。また、行事イベント等で人出は変わる。前年と特に変化なし。	飲食業
	衣替えが徐々に始まっている。年々夏の暑さに拍車がかかり、おしゃれ着が家庭洗濯できるものに徐々にシフトし、年々夏物衣類のクリーニング受注量が減ってきている。家庭で洗濯出来ない品物の汗抜き等をしっかりアピールして料金アップにつなげていきたい。	普通洗濯業
建設業	8月の山口支部の中電への工事申請は103件。そのうち、太陽光発電の申請23件、オール電化申請77件。LED街路灯への切替・新設は12件であった。	電気工事業
	秋より工事量の回復が見込まれていたが、一ヶ月余りずれ込む予定である。	左官業
	発注は順調にあり、台風の影響が少しあったが仕事も順調に熟している。今年度の主な発注は終わり、下半期の発注は減る見通しである。相変らずの誘導員（ガードマン）不足に対応するため、誘導員の都合を優先して工程を組んでおり、人件費も上がっている。今後の改善に期待をしている。徳山駅前と周南市役所の大型工事が実施されているが、大手が約80%を受注。その他市営住宅等の工事も入居者の減少から発注が減少傾向。燃料費は少し上昇している。	管工事業
	例年この時期は繁忙期であるが、各組合員とも仕事の減少が続いている。瓦メーカーの出荷量も対前年比で減少傾向であり、業界全体で仕事量の減少が見られる。地場工務店、建築業者の新築着工数の減少が顕著で、新築物件は大手ハウスメーカーが大部分を占めている。大工の後継者が育っていないのも一因であろう。	屋根工事業
	内装工事業は8月以降の好調が引き続き、職人が足りない状態であった。職人不足が今後も続く予想される。7、8月の現場の遅れが中間決算の関係で仕上げ工事が9月に集中したが、10月は少し落ち着く見込み。	内装工事業
	柳井商業高校跡地の、図書館、防災公園、駐車場整備等が始まり、地域にとって重要な拠点として地域の活性化の原動力となるよう期待している。地域の活性化なくして、公共工事、民間工事の増大は無いと思う。業界の自助努力はもちろん必要であるが、この機会に貢献できるように頑張れば後に業界に廻ってくると考えている。	土木工事業柳井市
	9月の受注高は、対前年同月比61.1%。今年度の累計は対前年比56.6%。	土木工事業 萩市

運輸業	鉄鋼素材等輸送は相変わらずドライバー不足と働き方改革による長距離稼働時間の制限により輸送量が低下し、収益も低下している。中近距離輸送は順調。輸出関連輸送がやや増加。全体では0.6%のプラスとなったが、中小輸送業者にとっては相変わらず厳しい現実に苦慮している。燃料費は8月と同額。軽油引取税の減額を望む。	一般貨物自動車運送業 下松市
	突発的な受注もあり前年同月比でプラスに転じたが、一時的な受注であり今後は期待できない。相変わらずの乗務員不足は解消せず、慢性化しており見通しは暗い。	一般貨物自動車運送業 防府市
	売上は増加したが経費も増加したため利益は減少している。慢性的な人材不足状態である。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	業務内容に大きな変化はないが、売上は5%の減少。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、前年比▲5.5%(平成29年8月1日～平成29年9月20日分)。8月1日～31日分は▲5.1%、9月1日～20日分は▲6.4%。前年度の金額が前々年より微増(前年8月分+0.4%)だった事と、タクシー需要は明らかに減少しており、個人消費の減少は景気減退の傾向にあるように思われる。当組合の取扱は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。8月分については、周南▲4.9%、下松▲1.8%、光+8.7%、防府市地区が▲8.9%で、組合員の全域では▲4.4%、地区外(員外)▲12.1%で合計▲5.1%であった。主要燃料であるLPGについては、CP(通告価格)と為替に連動。CPが上昇した前月412.5\$/トンが今月480.0\$/トン、前年305.0\$/トン)ため前月より+6.2%となった。前年9月分に比べると+25.5%となっている。タクシー乗務員は慢性的に不足している上に、労働時間の管理(監督署+運輸局による)が厳しくなり実稼働人数が減少。時間帯によると配車が遅れるような状態である。下関地区では、料金改正の動きがあるようだが、ますます利用が減少するとも思われ、他地区はそこまで踏み切れないでいる。乗務員の労働条件(収入)が厳しい事もあり、人員不足が解消できない状況が続いている。台風接近による飲食街の利用減少もあったが、もともと企業関係や個人利用が減少している模様で、再び景気減退の状況に陥っているような気がする。	一般旅客自動車運送業 周南市
	今月も例年並みの取扱高であった。	港湾運送業

その他非製造業	状況に変化は無い。ようやく技能実習生（介護）が動き出すので期待している。	介護事業
---------	--------------------------------------	------